

自動車整備・カーボディマスター科(3年次) 自動車整備・トータルマスター科 (3年次)		2024年度 授業計画			
時 期	3年前期	単元	実習	教科名	溶接
科 目	車わく及び車体の整備作業	教科書等 持参品	日産 1 級車体士	発行日	2024年3月11日
総 時 限	41時限		日産 2 級車体士		
必 須 時 限	39時限		日産 3 級車体士	教科 担当	上谷 晃一 濱村 和樹
1. 指導教員の実務経験			該当	非該当	
車体整備士として板金、塗装全般の実務経験がある教員により溶接全般の構造・作動について指導する。					
2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)					
<ul style="list-style-type: none"> 各種溶接の原理、特長とその溶接作業の基礎を理解する。 酸素・アセチレンガス溶接作業について理解する。 電気アーク溶接について理解する。 電気抵抗スポット溶接について理解する。 ガス・シールドアーク溶接について理解する。 ドリルの取り扱いと研磨について理解する。 					
3. 授業の到達目標 (何を理解し何が出来るようになるのか)					
<ul style="list-style-type: none"> 各種溶接の原理と特長を説明できる。 ドリルの取り扱いと特長を説明できる。 					
4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)					
<ul style="list-style-type: none"> 酸素・アセチレンガス溶接機の操作手順について理解する。 パネル突合せ溶接法を理解する。 酸素・アセチレンガスによる絞り作業手順を理解する。 酸素・アセチレンガスによるガス切断方法を理解する。 溶接欠陥を理解する。 電気抵抗スポット溶接機の操作手順を理解する。 ドリルの研磨と取り扱い方法を理解する。 アルミニウムの溶接法を理解する。 					
5. 準備学習					
<ul style="list-style-type: none"> 過去 2 年間で学んだ自動車整備の基礎知識全般を復習しておくこと 					

自動車整備・カーボディマスター科(3年次)

自動車整備・トータルマスター科 (3年次)

2024年度 授業計画

時 期	3年前期	単元	実習	教科名	溶接
5. 授業概要 (時限ごとの主な授業内容)					6. 教科書、資料、備品類
時限					資料、備品類
1	溶接機の安全と基礎知識。溶接機の点検、整備の実施。				・酸素アセチレンガス 9
2	酸素・アセチレンガスの操作手順。溶接法(メルティングプールの作り方)				・ガス溶接作業台
3	飛石法による突合せ溶接。				・ガス溶接トーチ
4	"				・ライター
5	"				・ガス溶接用めがね
6	" 作品提出				・皮保護具
7	溶棒を使ったメルティングプールつくり。				・簡易マスク
8	"				・溶接棒
9	溶棒を使った突合せ溶接。				・イス
10	溶棒無しでの三角柱つくり。				・平板30×300mm×0.8t 3000枚
11	"				・木ハンマー
12	"				・ガス漏れチェックスプレー
13	"				・やっこ
14	" 底板の溶接。				・MIG溶接機 9
15	"				・溶接ワイヤ
16	"				・モンキーレンチ
17	"				・ニッパー
18	" 作品提出				・スパッタ保護スプレー
19	ガス・シールドアーク溶接。点溶接の練習。				・マイトン
20	点溶接による突合せ溶接。				・マイトン用砥石
21	突合せ溶接。				・エアドリル
22	MIG溶接による三角柱つくり。グラインダーによる切削。				・スポットカッター
23	" 水密検査含む				・スポットカッター研磨機
24	"				・ベルトサンダー
25	"				・ベルトサンダー用ベルト
26	"				・エアソー
27	プラグ溶接。				・スポット溶接機
28	"				・サイドシルアウター 2本
29	スポット溶接機の使い方。				
30	ドリルを使ったスポット溶接剥離。プラグ溶接による修復。				
31	"				
32	"				
33	エアソーを使ったサイドシルアウターのカット作業。				
34	シルアウターの突合せ溶接。ベルトサンダーによる仕上げ。				
35	"				
36	"				
37	"				
38	"				
39	"				
40	"				

